

カインズ商配株式会社

倉庫業 / 千葉県

TSR: 企業コード 32-062637-7 所在地: 〒270-0202 千葉県野田市関宿台町2546-1

TEL: 04-7196-1200 URL: <https://kinds-sh.co.jp>

事業内容: 物流代行

優良企業
ガイドは
P481 へ!



代表取締役社長 伊通 洋二 (いっしょうようじ)

Profile 1974年1月生まれ。47歳。高校生のときに福島県いわき市から上京。叔父の大瀧學が創業した弊社で、倉庫でのピッキング・梱包作業のアルバイトから仕事を始める。途中、独立・企業するも、叔父の要請で再び弊社へ。2014年に専務取締役、2017年に代表取締役社長に就任。

一問一答

御社のNo.1は?

物流の世界では、やはり「コスト」が一番重要です。弊社は物流業界でもトップクラスのローコストを実現し、それが戦力になっています。

座右の銘、社訓は?

「感謝と思いやり」です。物流はお客様の悩みに応えて喜ばれる仕事。お互いに感謝と思いやりがあってこそ、良い関係が築けます。

趣味、休日の過ごし方は?

コロナ禍の今は難しいですが、休日の楽しみは旅行です。国内各地への旅行の中では、特に石垣島の美しい自然が印象的でした。

1989年創業の、物流代行の老舗

弊社は1989年に私の叔父である大瀧學が創業した、物流代行と出荷・梱包・配送の会社です。創業当初は20名ほどの小さな会社で、私は1990年からアルバイトとして、倉庫でピッキングや梱包の仕事を担当しました。

その後、弊社は順調に成長を遂げ、本社のある総合通販センターのほか、千葉県に1か所、茨城県内に3か所、山形県内に1か所のセンター、大阪市に事務所を構えるに至りました。私は2014年に専務取締役に就任、そして2017年に代表取締役社長に就任し、これにあたって新たなセンターの開設に着手しました。2017年5月に竣工した茨城県の「坂東センター」です。坂東センターは満床で稼働し、弊社の売り上げの約半分を占める拠点となっています。現在、この坂東センターの向かい側に「坂東第二センター」を建設しており、2022年5月に竣工の予定です。坂東センターの開設から5年で坂東第二センターの開設という成長軌道に乗せることができた手応えを感じています。

オートメーション化戦略で一步先へ

弊社の強みは、オートメーション化を進めた「WMS(倉庫管理システム)」です。商品の保管状況を管理できるデータ収集用携帯端末「HHT(ハンディターミナル)」や、商品の検品と仕分けを自動で行う「GAS(ゲートアソートシステム)」「PaLS(パッキングアンドラベリングシステム)」などを導入しています。

PaLSは、あらゆるサイズの商品の梱包と送り状の発行と貼り付けを自動で行うもので、弊社が開発に協力したシステムです。坂東センターではPaLSを初号機をはじめ5機導入しています。物流の仕事には人の手が必要ですが、機械化できるところは積極的に機械化していくことで、作業がより正確になり、ローコスト化にもつながります。

物流の世界では、コストが一番の大きな問題です。大手通販サイトが送料無料

などを謳う中で、いかにコストダウンが図れるかを各社が絶えず試行錯誤を重ねて取り組んでいます。弊社はオートメーション化戦略で、物流業界でもトップクラスの価格競争力を備えるようになりました。

チームプレーが際立つ団結力

競争が激化する物流業界において、オートメーション化の流れは非常に早く、次々と新しいシステムが開発され、導入されています。弊社もその流れに遅れをとらないよう柔軟に対応していますが、やはり会社を支えるのは人です。弊社では人材育成も積極的に行っています。入社後は2か月程、ビジネスマナー研修や各センターでの実践研修など様々な研修を受けてもらいます。弊社は化粧品や医薬部外品などの商品を多く取り扱うため、その際に必要な衛生管理者や高度管理医療機器等管理者などの資格を取ることもできます。

また、弊社は急な大量発注など、ピンチの際には私自身も倉庫作業に加わってみんなで乗り越えたりと常にチームプレーを大切にしているフランクな会社です。協力してお客様の悩みにスピーディーに対応することで信頼を獲得し、最高のパートナーとして取引先を増やしてきました。ぜひ、弊社とともに、物流の未来を支えてみませんか。



本社オフィス。チームとしての団結力が自慢です。

人と機械の力で
物流の未来を変える